

セントラルFC宮崎



サッカークラブ 会員募集

スタッフ 松崎 博美 (元 鵬翔高校サッカー部監督) 中井 恒 (日本サッカー協会公認1級審判員)
河野 真一 (元 浦和レッズ) 上永 智宏 (元 サガン鳥栖トップチームコーチ)
大西 健介 (元 ホンダロック) 秋吉 伸洋 (元 日本体育大学サッカー部)
日高 潤 (立命館大学卒 元紫光クラブ) 川横 峰大 (元 鵬翔高校サッカー部)
和田 崇臣 (元 鵬翔高校サッカー部)
GKコーチ 綾 哲一 (元 全日本学生選抜)



経験豊富なスタッフが指導にあたります！！

セントラルFC宮崎では、サッカーを通して青少年の健全な心身の育成を図ることを目的とします。

心を磨く
体を鍛える
脳の活性
生きる力

- 目標に向かって継続的に努力をして、簡単に諦めずに耐え抜く力を身に付ける。
(根気強さ、忍耐力、達成感)
- チームスポーツでは、それぞれの役割(ポジション)があり、お互いが協力してチームワークの大切さを学ぶ。(自己犠牲、協調性、コミュニケーションスキル)
- 多くの感動を仲間と分かち合い、感性を高める。(体感)
- 自分を取り巻く環境が、周りの協力によって成り立っていることを理解する。(感謝)
- 定期的に体を動かす機会を作り、健康的な身体を作る。(健康)
- 発育発達の特徴を理解し、その年代で取り組むべきことを、重点的に取り組む。
(神経系の発達)
- ゴールデンエイジ
スキヤモンの発育発達曲線を参照すると、神経系統は生まれてから5歳頃までに80%の成長を遂げ12歳でほぼ100%になる。この時期に神経回路へ刺激を与え、その回路を張り巡らせるために多種多様な動きを経験させる。一度経路が出来上がると、その経路はなかなか消えません。ある一つの課題に対しても、吸収しやすい時期と、しにくい時期が出てくる。最も吸収しやすい時期に、課題を与えていくことが大切である。
- 状況判断、駆け引き
サッカーは人(複数)とボールが常に動き続け、全く同じ状況(場面)は有り得ないと言われる。様々な状況が交錯し、5秒後には全く違う状況になっている。その中で常に状況判断が求められ、相手との駆け引きも必要となる。サッカーは突き詰める程、奥が深い。しかし、誰でも簡単に始めることも出来る。

小学1年生～6年生、中学1年生～3年生までの会員募集

私達は夢を抱き、挑戦し続けます。

セントラルFC宮崎のサイトへようこそ!!!

検索



練習(宮崎産業経営大G 他)

月・木 小学生 17:45～
火・水・金 中学生 18:30～

問合せ 大西 090-4347-9015